

鳳仙

発行
桐生山鳳仙寺
桐生市梅田町一丁目五八
電話(0277)321177
FAX(0277)401600

新年を迎えて「子年」



お正月は清々しく、初詣でに参れば旧年も様々なものが身体から抜けたようで、気分もスツとあらたまる気持ちになれますね。このお正月の「あらたまる」気分は、「新しい魂になる」意味に繋がっています。

がつているそうです。だからお正月は私たちにとって、「再生」の節目な訳です。
十二支の数えで一番最初に登場するのが子(ね)。子は「ふえる」という意味をもつことから、生命が増殖することの象徴となっています。また、子が割り当てられている十一月(子月あるいは霜月)は、それまで「陰」に覆われた万象が、冬至を経て少しずつ「陽」の方向へ向かい始める月。この意味からも、子(ね)には数々の命が活き活きと生まれ出る物語が、込められています。

1月1日から5日まで

ゆったりと落ち着いた雰囲気
で厄除けができます

大晦祭

厄除け

開運

除夜の鐘

桐生山鳳仙寺

群馬県桐生市梅田町1-58 TEL.[0277]32-1177

祠堂・秋葉三戸尺坊・開山堂 新築工事経過報告



ねむらう「お祝い」とも言えます。
総代さん、世話人さん、工事関係者などが一同に会し、今後の工事の安全を祈願し、お互いの協力の元がいい建物をつくり上げていくこととする意思

上棟式を厳修(安)

午後四時より、「上棟式」が行われました。上棟式は「棟上げ(むねあげ)」とも呼ばれ、無事棟が上がったことに喜び、感謝するものです。つまり、上棟式は「儀式」だけではなく、職人さんの労を



表示の会でもあります。上棟式では、まず工事関係者のごあいさつ、工事関係者の紹介その後、最後の棟木が祠堂に取り付けられました。そして、ご祈祷という流れで行われました。

基本構造が組み上がり、祠堂のおおよその規模が



わかれると想像以上に大きな建物だと感じます。ご参詣の折りにぜひご見学ください。



正 賀

住職 坪井 良廣
副住職 坪井 良樹
総代 小此木 秀夫
太田 亨文
石原 竹雄
池田 伊佐男
峯崎 一男

世話人
東洋 一 金子 清館 盛治
天笠 勝美 金子 宗吉 啓
石原 信子 木島 幸雄 都筑 啓友
板井 政夫 木島 富美雄 長澤 吉太郎
板倉 光夫 桑子 三喜男 中島 章好
岩崎 親道 桑原 金吉 長谷川 孝元
岩崎 岑生 小林 當二 羽田 野百合
内野 正章 小林 満寛 子
梅澤 守夫 五味 田博 廣神 重子
大里 政由 清水 義男 平方 佳介
岡村 栄三 下山 直二郎 前原 高男
岡島 栄 下山 博康 山鹿 精一
小川 廣夫 田嶋 愛子 吉田 長生
金丸 由太郎 田島 輝雄 (あいっえお願)

顧問 長沢 弘一郎

一口八万円以上の寄付者には記念品として左記写真の位牌を作り永代供養碑として供養堂へ安置します。未だの方はこの機会に申し込みください。



祠堂寄付申込の方法
銀行振込・郵便振替にて
お願いします。

銀行口座

桐生信用金庫梅田支店
普通 0104616
鳳仙寺寄付
鳳仙寺

郵便振替

05201-032259
鳳仙寺

佛像開眼法要 山門樓上にて



十一月三十日、鳳仙寺山門樓上(ろうじょう)に新しいお釈迦様を安置し開眼法要を執り行いました。以前から山門にあった古いお釈迦様は、現在修復をしています。古いお釈迦様は宝永元年八月(一七〇四年)・今から約三〇〇年前に山門の完成にあわせ山門上に安置されました。その後、明治二十六年(一八九三年)に修復。今回で二度目の修復となります。古いお釈迦様は、建設中の開山堂に安置されますので落慶の時に



**お参りしやすく
駐車場が
整備されました。**



鳳仙寺庫裡裏駐車場及び永代供養塔階段廻りが整備されました。写真の通り、きれいに舗装され区画の白線も引かれました。全部で六十区画ありますが、詰めれば百台は駐車出来そうです。

成道会 お釈迦様お悟りの日



十二月八日は、お釈迦さまが難行苦行されたあととインドのブツダガヤの菩提樹(ぼだいじゆ)の下で悟りをひらかれ、仏陀(ぶつだ)とな

られた日です。これにちなんで鳳仙寺では毎年、成道会(じようどうえ)という法要を営んでおります。鳳仙寺の婦人会の方々とはまず初めに坐禅を行い、次に法要、最後にお粥をいただきます。

お釈迦様は八日の未明に悟りを開いたあとに近くの尼蓮禅河(ニレンゼンガ)という川で体を清めていたところ近くの村に住む娘スジャータからミルク粥

婦人会だより

婦人会総会までの予定

- 一月 婦人会新年会 十二月より 於 鳳仙寺
- 二月 十五日 涅槃会(ねはんえ) ※お釈迦様が亡くなられた日です 午前中 涅槃団子を作ります 十三時 涅槃会法要
- ※希望者のみ 四月二十二日〜二十四日 西国三十三観音霊場巡礼の旅
- ※希望者のみ 四月二十九日

婦人会 賀正

〜まごころに生きる〜
新年あけましておめでとございます。

- 婦人会会長 峯崎 由子
- 副会長 石原 茂子
- 副会長 坪井みほと
- 書記 金居 延子
- 書記 星野 歌子
- 書記 田島登志子
- 会計 吉池 良江
- 会計監査 栗原 政江

〜比べてください。ご負担をかけたくない永代供養です。鳳仙寺は、核家族時代に供え、又地域環境保護の見地から、跡継ぎがない人達に、集合納骨施設をお勧めしています。

寺院墓地の暖かさ 閑静な「永代供養塔」です。

永代供養費「納骨堂使用管理費 一霊 墓誌刻字代含む」は、十三万円のみです。

規約の一部

○ご遺骨は、写真の通り一体ごとに、アルミの袋に納められ永久に保存されます。又いつでも返骨可能です。

○合葬を希望の方は、納骨堂地下に納められ土に帰ります。この場合返骨は不可能です。

○鳳仙寺護持会費、掃除代、寄付等の費用負担は一切ありません。

○年回、法事、施食等の行事は、施主の希望が有れば行いますが当寺から強制する事はありません。(葬儀費用は、永代供養費には含まれません。ご相

毎月1日は 坐禅と朝粥の会

当寺では、毎月一日・朝七時より八時まで「坐禅と朝粥の会」を行っています。今年度は参加者も増えて賑わいをみせております。

平成二十年(一月一日)はお休みで二月一日からと

なりませぬ。朝は肌寒いので参加される方は暖かい格好にてご参加ください。

◆坐禅会の流れ
六時五〇分 坐禅の仕方(初めての方)
七時 坐禅
七時半 朝粥を頂きます
八時 解散



内部



全景

談下(ごんげ)

婦人会関東管区研修会報告

鳳仙婦人会 会長 峯崎 由子

平成19年度第二回曹洞宗婦人会の関東管区研修会が、一都六県の皆様方を迎え、伊香保「天坊」を会場に1泊2日にて盛大に催されました。

第一日目の基調講演「放てば満てり」は、「やわらかく生きる」をテーマとして大本山總持寺布教部長老師をお迎えして行いました。

老師のご法話の中でも特に印象的だったのは、「人生は幸せでなくてはいけません。この「幸」という字の中に「つらい」という字が隠されている。辛



いことを何度も何度も味わった上でこの幸せを求めることができた人は、人の痛みも周りの人々にもこの思いを一緒に味わって行くことが出来るでしょう。」

私たちが生きていく上での大切な事柄を次から次へと話され、明日からでも実践できるような多くのことを学べるとても貴重な時間となりました。

懇親会では、鳳仙寺婦人会副会長の石原茂子さんの指導の下会員全員が八木節音頭で大い

に盛り上がりました。

第二日目は、群馬県代表として贗仙寺婦人会・会長 峯 由子さんが「鳳仙寺婦人会の歩みと活動」の発表を行いました。

以下で、発表の内容をお伝え致します。

私達、鳳仙婦人会活動の歴史を発表させていただきます。

鶴舞うかたちの群馬県その東東毛に位置し、両手を合わせた手を東南に優しくそっと開いた様な山に囲まれた桐生市

鳳仙寺は、その北に天正2年(1574年)の昔、北関東のゆうととなえられた桐生・太田・館林の城主・由良信濃守成繁公

へゆらしなのかみなりしげこうが、自らの菩提所として建立された曹洞宗のお寺で、開創以来、鳳仙寺は、間もなく四世紀半になんなんとする、永い法灯の歴史を刻んでおります。

豊かな自然の懐にいだかれた別天地にあり、全山が真っ赤に燃え上がるツツジ満開の春。目のさめるような青葉で、心まで緑にそまっして

まうほどの夏。自然の織りなす綾錦(りようきん)にかんたんさせられる紅葉の秋。そして、全山静寂で木枯らしの音さえ、み仏の声に聞こえてくる冬。文字通り「静寂閑雅」(せいじやくかんび)な霊地に誇ります。

このような恵まれた環境の中、私達の婦人会は昭和 年4月からの1年間の準備期間を経て、昭和 年5月7日に発足致しました。

以来今年、年目を迎え、会員数は、122名です。例会では、常に4、50名の方々が、ご住職様のアドバイスを受

ながら自立した活動を行っております。お寺では、毎年4月日(昭和の日)に先祖供養の施食会が行われております。この日は大勢の檀信徒の方々がお寺にいらつしやいます。その皆様が訪れる日にわた

くし達の婦人会の総会を開いております。それは施食会に参加する方々に、婦人会の活動を見ていただきたいという願いからです。その後、婦人会会員により日頃お世話になっている、



山河を美しく、「正司歌江氏・石川洋氏の講演」、そして、婦人会創立十周年記念式典では、桐生の山俊堂先生をお呼びして、文化会館の大会場を一般市民で満杯にして、大きな反響をいただきました。

親睦旅行では、上州七福神巡り、秩父、板東札所巡り、四国札所巡り、を数回に分けて実施し、現在は西国観音巡りをおこなっており、来年4月の2回目があるのを今から楽しみにしております。

国内では「別所」、「奥多摩」、「北鎌倉」、「那須」、「デイズニールランド」、「日光江戸村」、「山形県天童温泉」、「總持寺・鎌倉」、「鴨川」、「新潟の大湯温泉」、「秋の椿山荘庭園散策と東京下町めぐり」、「横浜、日帰り旅行(元町、三溪園、人形の家、中華街)」、「可睡斎(岡崎城)など各地の名所、旧跡を訪ねました。中でも思い出深いのが「愛知専門尼僧堂を訪ねる旅(尼僧堂、徳川美術館)」、でした。

遠く海外では、「ハワイ」、「道元禪師がご修業された中国天童寺」、「玄奘三蔵(げんじょうさんぞう)の歩いた道を求めて「イン

ド仏跡参拝8日間、6大聖地を巡拝」、「インド仏跡参拝8日間、中部聖地を参拝」、「シルクロード参拝8日間」と2回のインドを廻り最終日には三蔵法師のお墓参りでした。また暮れの大掃除では、恒例になっており、水は冷たいですが掃除が終わるとすがすがしい気持ちになります。

三佛忌であります。花祭り、成道会、涅槃会は心に残るものでございます。涅槃会では、赤・緑・黄色でお花をあしらった、涅槃団子を毎年大勢の会員で作り、それをお供えし法要を行います。住職様の法話の後、お寺様からは温かいお汁粉が振る舞われます。また「運をめでる会」など盛り沢山の活動をしております。

元氣なときこそお寺様に足を運び今日一日を大切に楽しく元氣に行事をこなし。婦人会活動意外の、御詠歌、華道など、文化活動にも参加させていただきます。

来年は、一年遅れの周年行事を行います。菩提寺も位牌堂・開山堂、小本堂など多目的な建物が出来上がります。

また高齢化により



会員の減少が考えられますので、これを防ぐ意味でも若い方々も気楽に婦人会活動に参加出来る様な行事も考えていきたいと思っております。

現在は、物の使い捨ての時代は去り、心の豊かさ、大切さが見直されている時です、形の無い物の大切さを思い一期一会の心で、家族との絆、会員同士の絆、お寺との絆を深めております。

このときにこそ、私たちは鳳仙寺の歴史や、祖先が築いてこられた多くの業績等を振り返り、過去(歴史)をしっかりと理解し、新たな進路を定めることが肝要のように思われます。

このことは、単に鳳仙婦人会の充実・発展につながるというだけでなく、私たちが自身の心を豊かにする修行の一つとなるのではないかと思います。

また高齢化により

新しい年には厄除け

初詣はぜひ菩提寺まで

除夜の鐘

十二月三十一日は毎年恒例の「除夜の鐘」を行います。撞き始めは十一時四十五分頃。古いお札や縁起物は、境内にてお炊き上げをいたします。本堂では温かい飲み物の接待のほか、新春祈禱、破魔矢などの頒布をおこなっています。

元旦0時から本堂にて本年の厄を消除する今年最初の祈禱であります。「元朝大祈禱(がんちょうだいきとう)」を行います。お誘い合わせのうえ、ぜひご参詣ください。

新春祈禱

元旦より五日まで新春祈禱を行っています。時間は、朝九時～午後四時頃まで。一時間間隔で随時申し込みができます。新年を迎える事が出来た

平成20年度 厄年表		
前厄	本厄	後厄
男		
60歳 昭和24年生	61歳 昭和23年生	62歳 昭和22年生
41歳 昭和43年生	42歳 昭和42年生	43歳 昭和41年生
24歳 昭和60年生	25歳 昭和59年生	26歳 昭和58年生
女		
36歳 昭和48年生	37歳 昭和47年生	38歳 昭和46年生
32歳 昭和52年生	33歳 昭和51年生	34歳 昭和50年生
18歳 平成3年生	19歳 昭和2年生	20歳 平成元年(昭和64年生)

尚、この表は満年齢に一歳を加えた数え年です。

感謝と、新たな希望の成就を願って参加してください。尚、一月四日朝九時からの祈禱は大祭です。

第二回西国三十三観音霊場のご案内

花の長谷・室生と奈良・京都の旅

皆様方におかれましては益々ご健勝の事とお慶び申し上げます。

今回は、古都「京都」「奈良」方面の巡拝ですが、季節的にちよつと早いかもかもしれませんが、牡丹で有名な長谷寺、石楠花で有名な室生寺の参拝も致します。前回と同様、多数の皆様のご参加をお待ち申し上げております。

○期日
平成二十年四月二十二日(火)～二十四日(木)
二泊三日

○旅費
九万円(全食・観光付)

○募集人員
二十名(定員になり次第締め切りは3月21日(金)まで)

※参加ご希望の方は、電話かFAXにてお申し込みください。

◆お申し込み・お問い合わせは
桐生山 鳳仙寺
〒三七六〇六〇一 群馬県桐生市梅田町一五八
電話〇二七三三二二七
FAX〇二七四〇一六〇〇

また、電話やFAX、インターネットによる事前申し込みもできます。来

山出来ない方はお札の郵送もいたします。
●鳳仙寺ホームページ
<http://www.hosenji.or.jp/>

締切ります)

○申込方法

申込書に必要事項をご記入の上、申込金二万円を添えて三月二十日までに鳳仙寺へお申込み下さい。

○コースの御案内
四月二十二日(火)
【鳳仙寺】5時～【東京】7時33分発↓のぞみ↓9時16分着【名古屋】9時30分発↓近鉄特急↓【名張】10時56分着↓【室生寺】↓第6番【壱阪寺】↓第7番【岡寺】↓第8番【長谷寺】↓長谷寺門前17時30分宿泊地/長谷寺門前四月二十三日(水)

四月二十四日(木)
【京都】8時30分↓第20番【善峰寺】↓第21番【穴太寺】↓第19番【革堂】↓18番【六角堂】↓【京都】16時57分発↓のぞみ↓【東京】19時16分着↓【鳳仙寺】時着

※詳細につきましては後日、参加申込者には「旅のしおり」にてご案内致します。

鳳仙寺 「写経の会」

第4回写経の会開催のご案内です。今回は、写経の他に写佛も用意しました。

初めての方でもどなたでも気軽にできます。日常生活のある一時、写経をしてゆつたりとした時間を過ごしませんか。

■日時 平成20年3月23日(日) 13時より

■人数 30名くらい

■参加費 1000円

持参品 小筆(または、筆ペンでも可)・ブンチン
※写経用紙(半紙)、手本、簡易硯、墨汁は用意いたします。

《スケジュール》
13時～ 受付
13時15分～ 看経・瞑想
13時25分～ 写経
14時45分～ 読経
15時00分頃 解散

摩訶般若波羅蜜多心經
觀自在菩薩行深般若波羅蜜多時照見五蘊皆空度一切苦厄舍利子色不異空空不異色色即是空空即是色受想行識亦復如是舍利子是故空中無色無受想行識無眼耳鼻舌身意無色聲香味觸法無眼界乃至無意識界無別亦無別處乃至無生死亦無老死盡無苦集滅道無智亦無得以此無所得故菩提薩埵若有菩薩遠離阿耨多羅三藐三菩提者應遠離阿耨多羅三藐三菩提是故諸菩薩摩訶薩應如是學應如是住應如是行應如是證



去年の写真

葬儀と永代供養 43万円

すでに亡くなられた方の納骨のご相談も承っています。

永代供養塔

- 葬儀費用 (通夜から葬儀、初七日までの一切)
- 戒名・御位牌
- 墓碑書入れ・納骨式
- 納骨堂使用管理費を含む

(年会費、入植料等は一切かかりません)

●上記は一般的な葬儀です。葬儀の内容・費用はご相談下さい。

一般墓地 一區画 30万円より

(1坪/3.3m)

緑の林に囲まれた落ち着いた雰囲気です。ゆつたりとした南向き。お車でお参りできます。

桐生山 鳳仙寺

平成二十年度年回表

一周忌	平成十九年
三回忌	平成十八年
七回忌	平成十四年
十三回忌	平成八年
十七回忌	平成四年
二十三回忌	昭和六十一年
二十五回忌	昭和五十八年
二十七回忌	昭和五十九年
三十三回忌	昭和五十一年
三十七回忌	昭和四十七年
四十三回忌	昭和四十一年
四十七回忌	昭和三十七年
五十回忌	昭和三十四年
百回忌	明治四十二年

日曜祝日の御法事お申込みはあらかじめお願いします。